

略年表

西暦 和暦	事 項
2万年前	二上山のサヌカイトを使った石器が作られる。
1万2千～1万年前	縄文草創期に、大和高原の桐山和田遺跡などが出現する。
紀元前4～後3世紀	奈良盆地の唐古・鍵遺跡、弥生時代を通じて存続する。
3世紀初頭	纏向遺跡が出現する。
239	邪馬台国の女王卑弥呼、魏の明帝から「親魏倭王」の称号を与えられる。
538 宣化天皇3	百済国の聖明王が仏像と経論を献じる。(仏教伝来) ※『日本書紀』では552年(欽明天皇13)とする。
585 敏達天皇14	蘇我馬子が大野丘に仏塔を建てるが、物部守屋が焼き払う。
587 用明天皇2	蘇我馬子が聖徳太子らと協力して物部守屋を攻め滅ぼす。
592 崇峻天皇5	蘇我馬子が崇峻天皇を暗殺する。
601 推古天皇9	聖徳太子が斑鳩宮を造営する。
603 推古天皇11	聖徳太子が「冠位十二階」を定める。
604 推古天皇12	聖徳太子が「十七条憲法」を定める。
607 推古天皇15	法隆寺が創建される。
610 推古天皇18	高句麗僧曇徴が紙、墨の製法を伝える。
643 皇極天皇2	飛鳥板蓋宮に都を遷す。 蘇我入鹿が山背大兄王を斑鳩宮に攻め滅ぼす。
645 大化元	中大兄皇子が中臣鎌足らとともに蘇我入鹿を暗殺する。 難波長柄豊碕宮に都を遷す。
655 齐明天皇元	飛鳥板蓋宮の火災で、飛鳥川原宮に都を遷す。
656 齐明天皇2	飛鳥川原宮から岡本宮に都を遷し、両槻宮および吉野宮を造る。
663 天智天皇2	白村江の戦いで百済救援の日本軍が唐・新羅の水軍に敗れる。
667 天智天皇6	近江国大津宮に都を遷す。
672 弘文天皇元	壬申の乱が起こり、大海人皇子が勝利して即位する。
天武天皇元	天武天皇が飛鳥浄御原宮を造る。
686 朱鳥元	大津皇子が謀反の疑いをかけられ自害し、二上山に葬られる。
694 持統天皇8	藤原宮に都を遷す。
701 大宝元	大宝律令が制定される。
708 和銅元	和同開珎が発行される。
710 和銅3	平城京に都を遷す。
712 和銅5	太安萬侶が『古事記』を編纂する。
720 養老4	舎人親王らが『日本書紀』30巻・系図1巻を撰上する。
723 養老7	「三世一身の法」が定められる。
728 神亀5	東大寺の前身である金鐘寺が創建される。
729 神亀6	長屋王の変が起こり、長屋王が自害する。
740 天平12	山背国恭仁宮に都を遷す。
741 天平13	諸国に国分寺・国分尼寺を建立する詔が出される。
743 天平15	「墾田永年私財法」が定められる。 大仏造立の詔が出される。
744 天平16	難波宮に都を遷す。
745 天平17	平城京に再び都を遷す。 東大寺大仏の造像が始まる。
752 天平勝宝4	東大寺大仏の開眼供養が行われる。
754 天平勝宝6	唐から僧鑑真が入京する。

西暦	和暦	事 項
768	神護景雲2	春日神社が御蓋山山麓に創建される。
784	延暦3	平城京から長岡京に都を遷す。
794	延暦13	平安京に都を遷す。
809	大同4	平城上皇が平城旧京に行幸する。
810	弘仁元	平城上皇による平城遷都が未遂に終る。(葉子の変)
1002	長保4	藤原道長が長谷寺に参詣する。
1007	寛弘4	藤原道長が金峯山蔵王権現に参詣する。
1031	長元4	藤原頼通が興福寺東金堂・塔の落慶法要のため奈良を訪れる。
1102	康和4	興福寺と東大寺が争い、東大寺衆徒が訴えのため手向山八幡社の神輿を奉じて入京する。
1136	保延2	春日若宮祭礼の「おん祭」が始まる。
1180	治承4	福原に都を遷す。
		平重衡が奈良を攻め、戦火により東大寺大仏殿や興福寺が焼かれる。
1185	寿永4	東大寺で大仏開眼供養が行われ、後白河法皇が臨幸する。
	文治元	源義経が吉野山吉水院(現 吉水神社)に潜伏するが、同行した静御前は蔵王堂付近で捕らえられる。
1195	建久6	東大寺再建の落慶法要に後鳥羽上皇、源頼朝らが臨席する。
1331	元徳3、元弘元	後醍醐天皇が神器とともに奈良に逃れるが、六波羅探題の探索を受け、笠置山に入る。
1332	正慶元、元弘2	護良親王が般若寺に隠れ、のち吉野山で倒幕の挙兵をする。
1336	建武3、延元元	後醍醐天皇が足利尊氏と争い、吉野に入る。
1391	明德2、元中8	足利義満が春日社・東大寺・興福寺に参詣する。
1392	明德3、元中9	南北朝が合一する。
1399	応永6	足利義満が興福寺金堂の落慶法要に参列する。
1465	寛正6	足利義政が「おん祭」見物のため春日社を参詣する。
1559	永禄2	松永久秀が大和国に攻め入る。
1560	永禄3	松永久秀が奈良に多聞城を築城する。
1567	永禄10	松永久秀と三好三人衆が戦い、東大寺大仏殿を焼く。
1574	天正2	織田信長が正倉院の香木蘭奢待を切る。
1576	天正4	筒井順慶が織田信長から大和国の守護を命じられる。
1577	天正5	織田信長が松永久秀の立てこもる信貴山城を攻め、自害させる。
1585	天正13	豊臣秀長が郡山城主となる。
1594	文禄3	豊臣秀吉が吉野山で花見を行い、吉水院を本陣とする。
1672	寛文12	奈良奉行溝口豊前守により春日社神鹿の角伐りが始まる。
1684	貞享元	松尾芭蕉が吉野山などを探訪する。
1692	元禄5	東大寺の大仏が再建され、開眼供養が行われる。
1772	明和9	本居宣長が吉野山などをめぐり、「菅笠日記」を著す。
1852	嘉永5	北浦定政が「平城宮大内裏跡坪割之図」を著し、平城京跡の研究を深める。
1863	文久3	天誅組が五條代官所を襲撃し、桜井寺に本陣を置く。
1868	明治元	大和鎮台(のちの大和国鎮撫総督府・奈良県・奈良府となる)が設置される。
1869	明治2	奈良府を奈良県に改称する。
1871	明治4	大和国15県を廃止して、大和一国を管轄する奈良県が誕生する。
1875	明治8	東大寺大仏殿回廊で最初の奈良博覧会が開かれる。
1876	明治9	奈良県が堺県に合併される。
1880	明治13	興福寺旧境内を中心に奈良公園が開設される。
1881	明治14	大和国を含む堺県が大阪府に合併される。
1884	明治17	岡倉天心・フェノロサらが大和の古寺調査を始める。
1887	明治20	奈良県の再設置が決定する。

西暦 和暦	事 項
1890 明治23	橿原神宮が創建される。 奈良一王寺間に県内最初の鉄道(大阪鉄道)が開通する。
1895 明治28	帝国奈良博物館(現 奈良国立博物館)が開館する。
1903 明治36	東大寺大仏殿の解体修理が始まる。
1910 明治43	平城遷都1200年祭が行われる。
1914 大正3	奈良一大阪・上本町に奈良県最初の電車(大阪電気軌道)が開通する。
1917 大正6	奈良県最初の乗合自動車が桜井一字陀松山(現 宇陀市)間で運行される。
1918 大正7	生駒山で日本最初のケーブルカーが開業する。
1922 大正11	奈良公園が国の名勝に指定される。 平城宮跡が国の史跡に指定される。
1929 昭和4	日本最初のロープウェイが吉野山で開業する。 志賀直哉が奈良市高畑大道町に移り住み、『暗夜行路』を完成させる。
1930 昭和5	宮滝遺跡の発掘調査が始まる。
1933 昭和8	石舞台古墳の発掘調査が始まる。
1934 昭和9	藤原宮跡の発掘調査が始まる。 法隆寺の「昭和大修理」が始まる。
1936 昭和11	吉野熊野国立公園が指定される。
1940 昭和15	橿原神宮などで紀元2600年奉祝行事が行われる。
1946 昭和21	第1回正倉院御物特別展が開催される。
1949 昭和24	法隆寺金堂が炎上し、壁画が被害を受ける。
1950 昭和25	奈良市が国際文化観光都市を宣言する。
1952 昭和27	石舞台古墳が国の特別史跡に指定される。
1959 昭和34	平城宮跡第1次5ヶ年計画発掘調査が始まる。
1960 昭和35	奈良大文字の送り火行事が始まる。
1972 昭和47	明日香村高松塚古墳で彩色壁画が発見される。
1976 昭和51	薬師寺金堂が再建される。
1978 昭和53	橿原市今井町伝統的建造物群保存対策調査が始まる。
1979 昭和54	奈良市の茶畑で太安万侶の墓誌が発見される。
1980 昭和55	明日香村保存特別措置法が公布される。 東大寺大仏殿昭和大修理落慶法要が行われる。
1981 昭和56	薬師寺西塔が再建される。
1983 昭和58	明日香村キトラ古墳の石槨内で四神の一つ玄武の壁画が発見される。
1984 昭和59	第39回国民体育大会「わかくさ国体」が開催される。
1985 昭和60	斑鳩町の藤ノ木古墳から朱塗りの石棺や金銅製の鞍などの馬具が発見される。
1988 昭和63	平城京跡で長屋王邸宅跡が発見され、多数の木簡が出土する。 奈良県再設置百年を記念して「なら・シルクロード博」が開催される。
1993 平成5	「法隆寺地域の仏教建造物」が世界遺産に登録される。
1995 平成7	創都1300年記念「ロマンピア藤原宮'95」が開催される。
1998 平成10	平城宮朱雀門が復原される。 「古都奈良の文化財」が世界遺産に登録される。
1999 平成11	明日香村飛鳥の飛鳥池遺跡で「富本銭」が出土する。
2002 平成14	東大寺で大仏開眼1250年を祝う慶讃大法要が行われる。
2003 平成15	薬師寺で大講堂の落慶法要が行われる。
2004 平成16	「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録される。